

雫石町 - 四季折々の魅力

岩手県西部の山間部に位置する雫石町は、一年を通してさまざまな観光資源を有しています。岩手山をはじめとする山々に囲まれていることから、スノースポーツのメッカとして知られていますが、暖かい季節には様々なアクティビティを楽しむことができます。ハイキングはもちろん、美しい自然の中に身を置くこともできます。また、温泉、アウトドア、伝統工芸、地元の農作物など、さまざまな魅力があります。

雫石町では、春にはシンボルである桜並木に虹がかかり、冬には岩手山にアーチを描く雪景色に虹がかかります。このことから、「雫石には虹が似合う」というキャッチフレーズが生まれました。日本の多くの地域と同様に、雫石町にも愛すべきマスコットキャラクターがいる。雫石町の公式アンバサダーである「しずくちゃん」は、伝統的な衣装に麦わら帽子をかぶった若い女性で、町のさまざまな場所で見かけることができます。

スノースポーツ

冬の雫石町には、スキーやスノーボードを楽しむ人が多く訪れます。雫石には、岩手山の南麓に位置する3つのスキー場があります。雫石町には3つのスキー場があり、いずれも岩手山の南麓に位置しているので、グループのニーズに合わせて選ぶことができます。グレンデでの長いハードな一日の後、雫石の温泉に浸かれれば、疲れた筋肉を癒し、精神をリフレッシュすることができます。

雫石スキー場

最高品質のパウダースノー、誰もが楽しめるアクティビティ、そして雫石プリンスホテルに隣接しているという「スキーイン、スキーアウト」の利便性は、雫石での冬の滞在に理想的なベースとなっています。1993年には、アジアで初めてアルペンスキー世界選手権が開催されました。

4.5kmのコースをはじめ、岩手山を一望できる11のコースがあります。雫石スノーランド]では、そり遊びやチュービングなどのアクティビティが楽しめるので、お子様連れのファミリーにもおすすめです。また、雪上車と呼ばれるトラック型の乗り物に乗って、通常のコースを越えて手つかずの雪に連れて行ってもらう「キャットスキー」も注目のオプションです。海外からのお客様には、英語によるスキー・スノーボードのプライベートレッスンをご用意しています。

雫石高倉温泉は、宿泊客だけでなく日帰り客も楽しめる温泉施設です。四季折々の景色が楽しめ、池には色とりどりの鯉が泳いでいるのも魅力です。また、標高730mからロープウ

ェイに乗って夜景を眺める「星空ツアー」も実施しています。紅葉の季節には、人気のハイキングコースのスタート地点までロープウェイで上がり、スキー場のある高倉山でトレッキングをすることも可能です。

網張温泉スキー場

本格的なスキーヤーの間では、この地域で一番のパウダースノーと言われている施設です。雫石スキー場に比べて規模が小さく、人も少ないため、海外からの観光客と地元のスキーヤーの出会いの場にもなっています。十和田八幡平国立公園内の犬倉山の斜面に位置し、自然のままの森に囲まれています。最長 5 キロのコースを含む 7 つのコースが用意されており、スキースクールや子供用のプレイエリアも完備されています。秋には、チェアリフトで上に登って紅葉を楽しむことができます。近くには「休暇村岩手網張温泉」があり、5 種類のお風呂が楽しめます。また、日帰り入浴が可能な「薬師の湯」では、760m の高さからの眺望が楽しめる露天風呂があります。

岩手高原スノーパーク

こちらも小規模なスキー場で、様々な種類のゲレンデ、スキースクール、キッズエリアなどがあります。雫石町にある 3 つのスキー場の中でも、長く滑らかな斜面を持つこのスキー場は、特にスノーボーダーに人気があります。また、充実したモーグルエリアや、特別に整備された "雪のコブ" を使ってスノーボードのトリックに挑戦できる「フリースタイルコース／スノーパーク」もあります。モーグルは難易度の高いスキーで、岩手高原スノーパークでは、モーグルに挑戦したい人のためのレッスンや、初心者向けのスキー・スノーボード教室を開催しています。リゾートに隣接した宿泊施設はありませんが、周辺には和洋折衷の宿泊施設がいくつかあります。